

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	貝塚市生活環境の改善と災害に強いまちづくり（その3）（重点計画）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	貝塚市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、災害に強い社会基盤の整備を進める。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	5,289	A	5,289	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	下水道整備（汚水）により、下水道処理人口普及率を64.7%（R2当初）から69.7%（R6末）に増加させる。 下水道処理人口普及率 =（下水道を利用できる人口（人）/総人口（人））×100% 86,613人 平成31年度4月1日住民基本台帳より	65%	68%	70%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	貝塚市	直接	貝塚市	管渠(汚水)	新設	汚水管渠整備事業	汚水管布設 200~400、L=30 ,150m 詳細設計	貝塚市						5,289	-	
											小計						5,289		
											合計						5,289		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

貝塚市で実施

事後評価の実施時期

令和7年09月

公表の方法

貝塚市ホームページ

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

污水管整備により下水道処理人口普及率が3.4%増加し、目標値としては未到達であるが、一定の生活環境の改善及び水質保全を図ることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

污水管整備により令和6年度末の整備済面積は1079haになった。

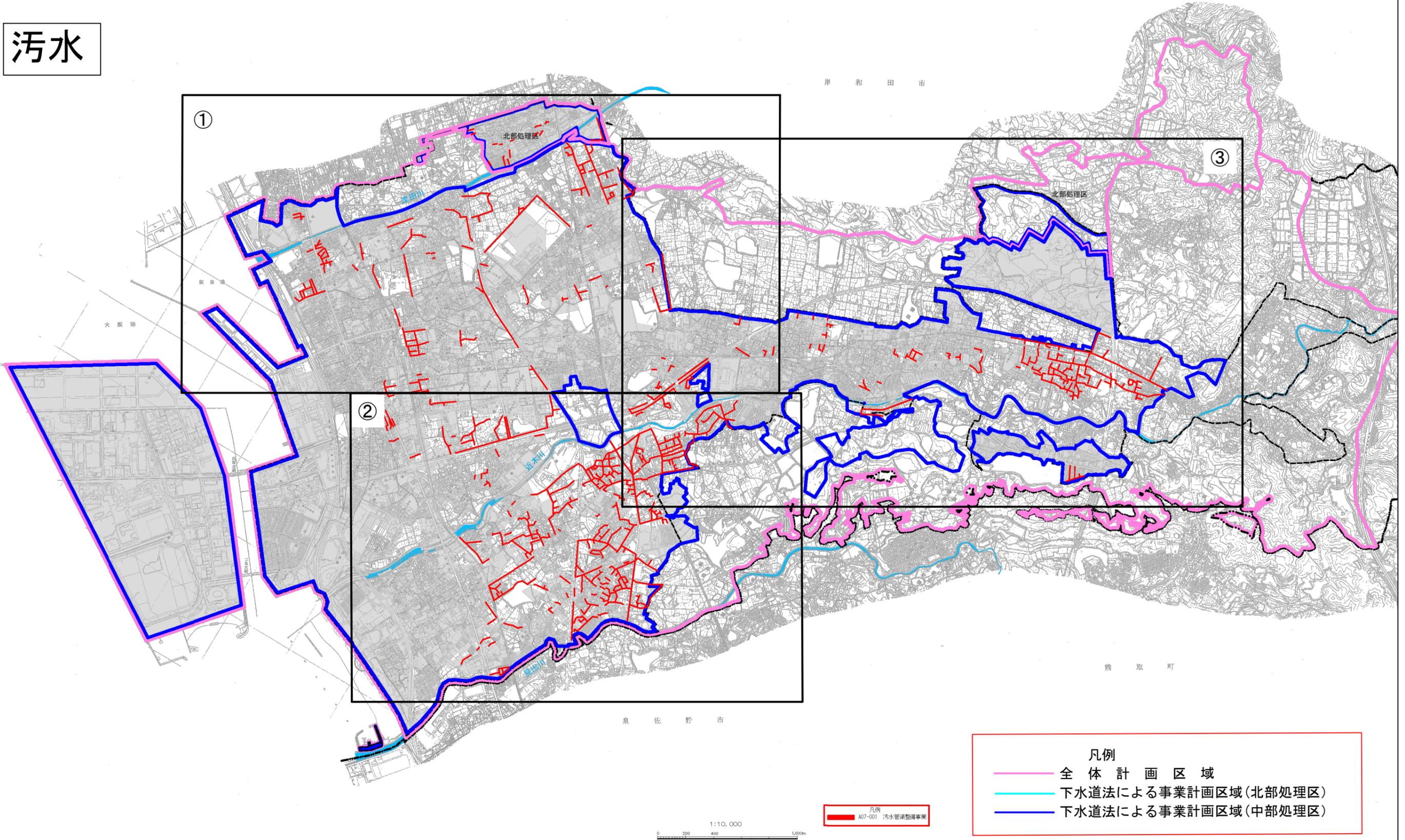
特記事項（今後の方針等）

生活環境の改善と水質保全などを目指し、今後も引き続き公共下水道の整備をおこなう。

(参考様式3)

計画の名称	貝塚市生活環境の改善と災害に強いまちづくり(その3)(重点計画)
計画の期間	令和2年度～令和6年度 (5年間)

汚水



- 凡例
- 全体計画区域
 - 下水道法による事業計画区域(北部処理区)
 - 下水道法による事業計画区域(中部処理区)

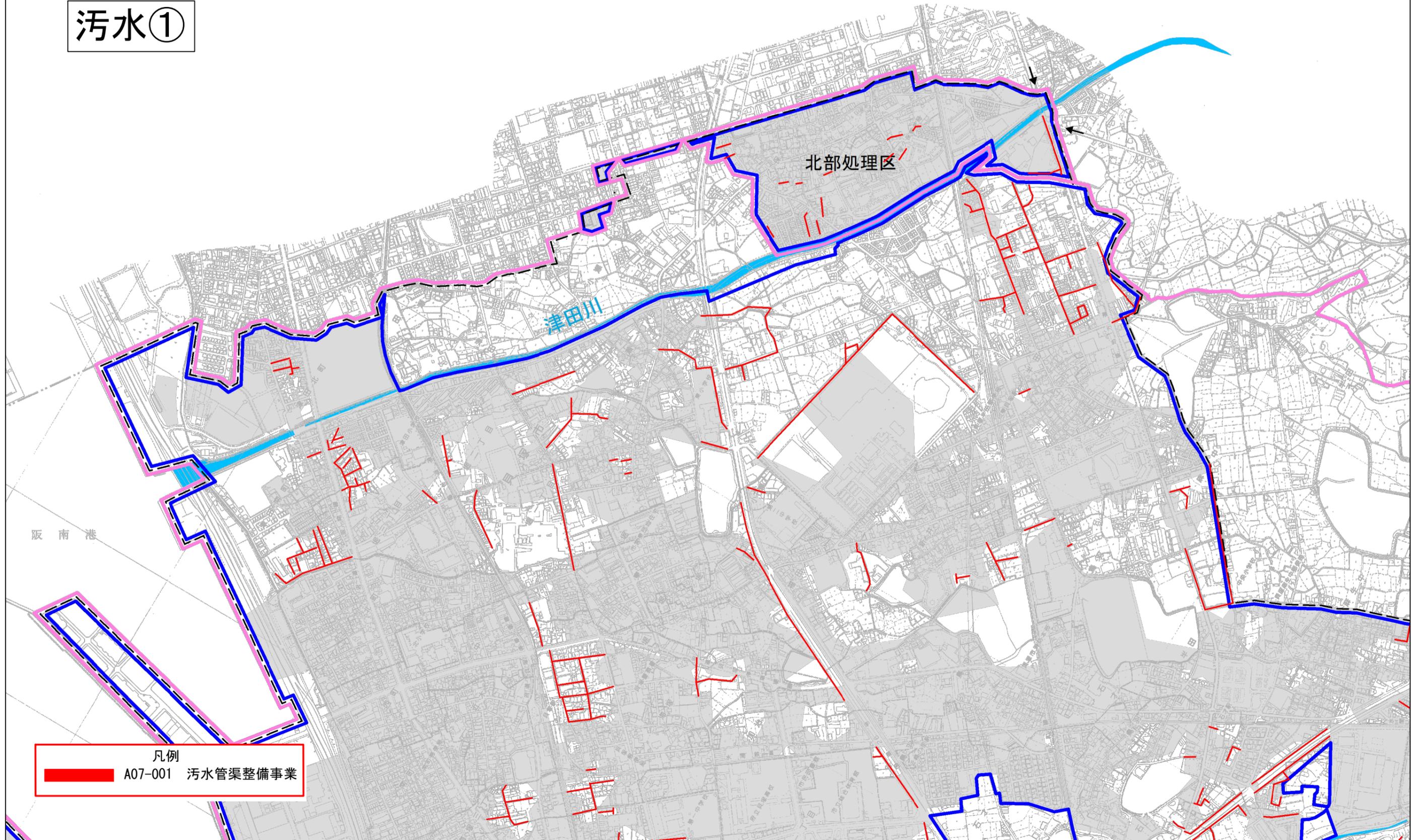
凡例
A07-001 汚水管渠整備事業

1:10,000
0 200 400 1,000m

(参考様式3)

計画の名称	貝塚市生活環境の改善と災害に強いまちづくり(その3)(重点計画)
計画の期間	令和2年度～令和6年度(5年間)

汚水①

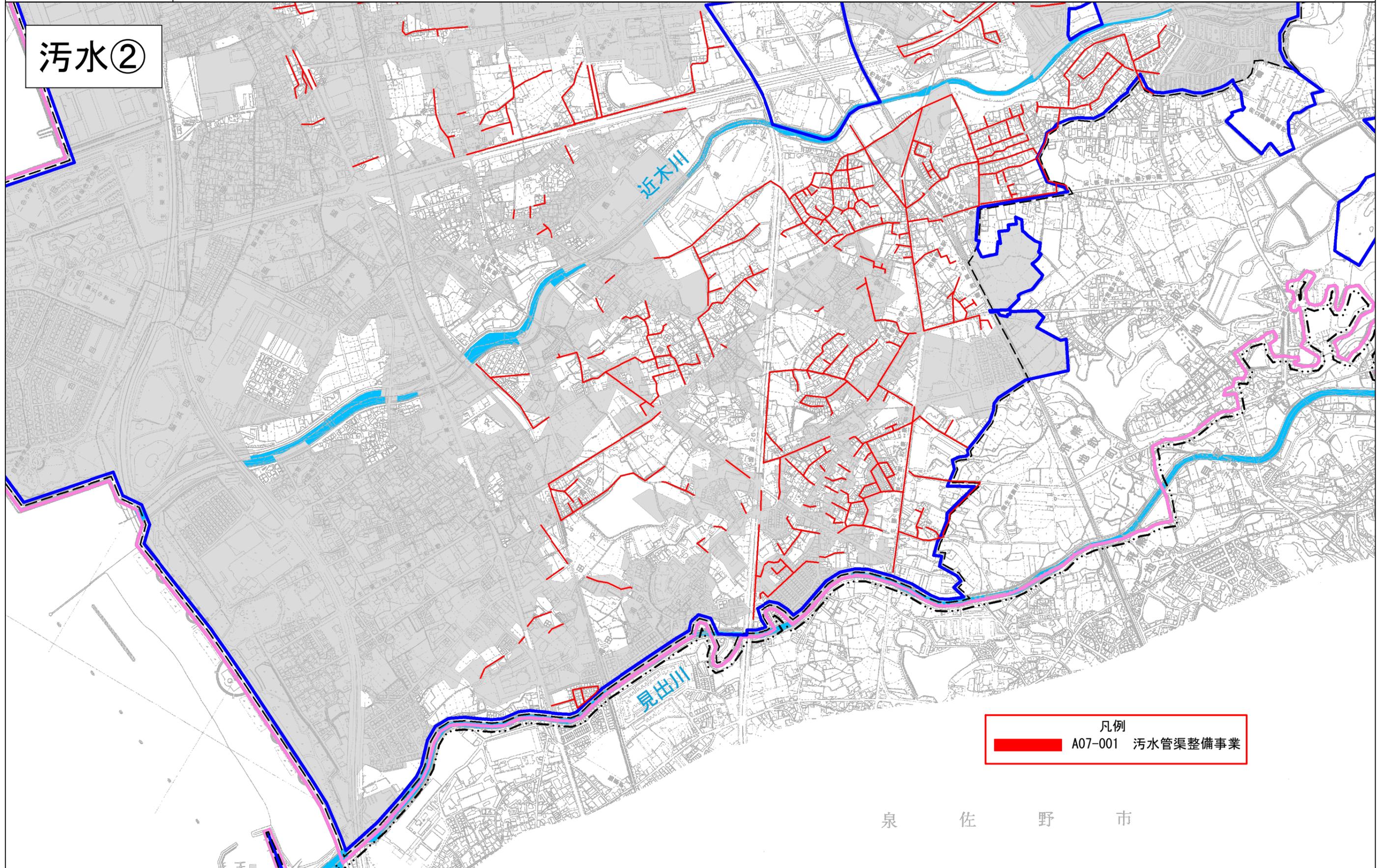


凡例

■ A07-001 污水管渠整備事業

(参考様式3)

計画の名称	貝塚市生活環境の改善と災害に強いまちづくり(その3)(重点計画)
計画の期間	令和2年度～令和6年度(5年間)



污水②

凡例
A07-001 污水管渠整備事業

泉 佐 野 市

(参考様式3)

計画の名称	貝塚市生活環境の改善と災害に強いまちづくり(その3)(重点計画)
計画の期間	令和2年度～令和6年度(5年間)

汚水③

